



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井 眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2552 例会 2013.7.17

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000
事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 曇 (NO. 50-03)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉島君、矢島(高)君

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング それでこそロータリー

【会長報告】

13(土)嵐山・国立女性教育会館で米山記念奨学委員会セミナー、市川カウンセラーと平沼委員長と研修を受けて参りました。秩父音頭まつり8/14・15に奨学生同行でいかがですかと中井ガバナーより案内がありました。が、委員長がお盆の最中で参加出来ないとの事で、欠席と報告しておきました。

【幹事報告】

- ・日高30周年DVDを配付しました。

【委員会報告】

◎雑誌委員会 馬場君
『友』7月号紹介。横組P1、「電子版」でHPの充実を図り組織外にも広報したいとロータリーの友事務所代表理事・片岡氏。P5~バートンRI会長メッセージ、プロフィール。ここまで来られたのは、同じ病院で同じ年(バートン氏が3か月先)に生まれ、ずっと一緒だった奥様のお蔭との事。P22、所沢RC高橋氏が中井Gを紹介。未来の夢、自分の形をPETS等で協議し、変革の年に相応しいガバナーに。縦組P2、「考えよう・育もう!自然と命」造園家涌井氏。緑に対する日本的な考え方が今、世界的評価を受けている。「卓話の泉」エコカー、肝臓について。私はアルコールを30年位毎日飲んでいるのもう駄目かもしれないです。俳壇に日高・犬竹会員(夫妻?)の作品が掲載。

【セミナー報告】

◎米山記念奨学委員会 平沼君
13(土)は主賓の秩父・金子氏が欠席。奨学金減額の要望が奨学生からも出され、当年は従来通りですが奨学生数は減りました。8月、秩父1泊研修会の日程は各クラブの意向を汲んでおられないようでした。今年度、いろいろ変わるところが出てくるかと思えます。

【出席報告】無断欠席なし 福島出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	52名	90.74%	92.73%

【M U】

7/13(地区)平沼君、吉田(武)君、市川(洋)君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・入会記念、有難うございます。

細田(伴)君、杉田君

- ・遅刻

中里(昌)君

本日計5,000円、累計額90,000円。

◎24日例会当番は吉田(行)、吉澤会員です。

＝クラブ協議会＝

司会 吉田武明会長

◎杉田一昭社会奉仕委員長報告

吉田 健、大河原康行委員と担当。中井Gは「変革」「継続」「簡素」「充実」を示されました。当委員会も現状をよく見て取り組みたい。他

の社会奉仕グループへの協力・支援、地元で根強く頑張っている団体の方の卓話を聴きたいと思います。環境保全、青少年奉仕委員会と共に頑張っていきたい。どうぞ1年よろしくをお願いします。

◎小崎裕之環境保全委員長報告

小久保勝弘委員と担当。岩沢運動公園の川沿いに「10年後みなさん健康で長生きして花見を楽しみましょう」と、1996年、五十嵐久四郎委員長が70本のシダレザクラを植樹。お忘れかと思しますので、まず報告します。故・筑紫哲也氏は「地球環境の問題は、私達の目に見えない所で進み、突如としてその姿を現す」「今行わなければ大変なことになる」と常に言っていました。循環型エコ社会を進めなければ地球はダメになってしまう。ロータリアンとしてどうしたら良いか一言では言えませんが4指針を挙げました。1) 地域社会の環境保全に参画。市議会でも「環境教育」が問われた。2) はんのう市民環境会議への参加。木川会員は会長。先日、エコライフデーが開催。皆様がリーダーとなり環境に配慮したまちづくりの推進に努めて頂きたい。3) ゴミ袋の寄贈は継続事業だが、今、いろいろな補修費も必要。4) 会員事業所、家庭等で環境負荷低減の啓蒙を図りたい。1年間よろしくお願い致します。

◎大野 康青少年奉仕委員長報告

吉澤文男、伊澤健司委員と担当。青少年は未来への希望。どう育てていくかは、どういふ社会を残してあげられるかと並んで大人達の大切な役割です。「新世代」から名称が変わり「青少年」を明確に意識しなさいとの事かと思いました。1) 諸団体と連携、健全な育成を支援。予算を有効活用したい。2) RC理念や役割を理解してもらうため教育委員会等とも連携したい。3) 青少年にどんな社会を残したらよいかクラブで議論を深め、社会に提言していく。9/4「未来に残したい飯能」でグループディスカッションが出来ればと思います。1年間よろしくお願い致します。

◎前島宏之会報・広報委員長報告

土屋 崇、島田秀和、本橋勝委員と担当。会報につきましては今までと同様、クラブの記録として会員の皆様が読み易い紙面作りに心掛けていきたいと思っております。また、50周年に向けて写真の保存、記録に努めていきます。広報につきましては文化新聞さん、飯能日高テレビさんと連携を深めながら、RCの活動を市民の方々に伝え、存在の意義をアピールしていきたいと思っております。1年間よろしくお願い致します。

◎馬場正春雑誌委員長報告

土屋良一、高橋弘委員と担当。ロータリアンのための機関・情

報誌である『ロータリーの友』を通し、情報や思いを共有出来るよう愛読して頂く、また、地域の方々にもRCの活動を理解して頂きたい。1) 例会での『ロータリーの友』の内容紹介。2) 17か所の各地域の行政センター等を廻って参りました。しゃべるのが下手な委員長ですが、弁護士さんと司法書士さんが付いてますから、お2人にどっぷりお任せして1年間頑張っていきたいと思っております。よろしくをお願いします。

◎細田吉春ロータリー財団委員長報告

寄付を集める委員会です。財団の標語は「世界で良いことをしよう」です。寄付には「してください」とお願いに行くものと、皆さんの方から「世界のために良いことをしたいので是非使ってください」というふうに持ってくるものと2通りあると思っております。前者の場合、してもらっても寄付が半減してしまいますから、出来たら皆様の方から積極的に委員会の方へ持ってきて頂くのが良いのかなあと齋藤文雄委員と話しております。ポリオ・プラスへの個人寄付(年次100、使途指定30、恒久寄付20)計150ドル/人は事務局から送って頂けます。出来たら個人的な大口寄付をお待ちしておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

◎平沼雅義米山記念奨学委員長報告

副委員長は大ベテランの橋本茂会員です。奨学会が考え方を变えていかなければならない年度だと感じています。地区のお金がだいぶ少なくなっている。大口寄付は昔は30万円でしたが10万円に減額されました。その分、我々は毎月1500円/人を納めているわけで、この額は地区ではトップクラスだと思います。使途ははっきりさせます。特別寄付の強要は私の方では致しません。皆様のご随意でお気持ちの中から出して頂ければ、それが飯能クラブの実績になります。1年よろしくお願ひ致します。

◎森 健二会計報告

この間の決算は全然問題ありませんでした。予算をどんどん使って頂いて、あとは任せて頂ければと思います。1年間よろしくお願ひ致します。



※次週の例会案内は省略。